

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	28	日々のルーティンでやっていることが本当にやりたくてやっているのだろうか「やりたくないのになあ」と感じてはいないか。	自分がやりたくないこともやりたいことも職員に話せる雰囲気作りであったり、どうしたいのかという心を読み取る力を養う。	改めて一人ひとりのこれまでの生活ぶりを把握して、施設での時間の過ごし方を見直していく。コミュニケーション力を鍛え、会話をする時間を増やし利用者の気持ちに寄り添い話を傾聴する。	6ヶ月
2	38・39	災害が起きた時、瞬時に避難移動であったり施設内での体制が整えられるか。	避難訓練、BCP訓練を行うことでやらなければならない行動を改めて把握し行動に移せるようにする。	BCP総合訓練をいかし、マニュアルで一連の流れに不足などところの追加と備蓄品等の不足分は話し合い早急に取り揃えていく。どこに何があるか把握をしていざという時にすぐ行動できるようにする。	6ヶ月
3	40	1人ひとりの尊重とプライバシーは守られているか。	より一層一人ひとりの体調面であったり、気にかけて本当に何をしたいか、何をしたいのかを見極める。本人に問うことでやりたいことを選んでもらい満足した日々を過ごしてもらう。	声掛けには十分に配慮して「どうしましょうか」など選択肢を取り入れて自己決定ができるようにしていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。